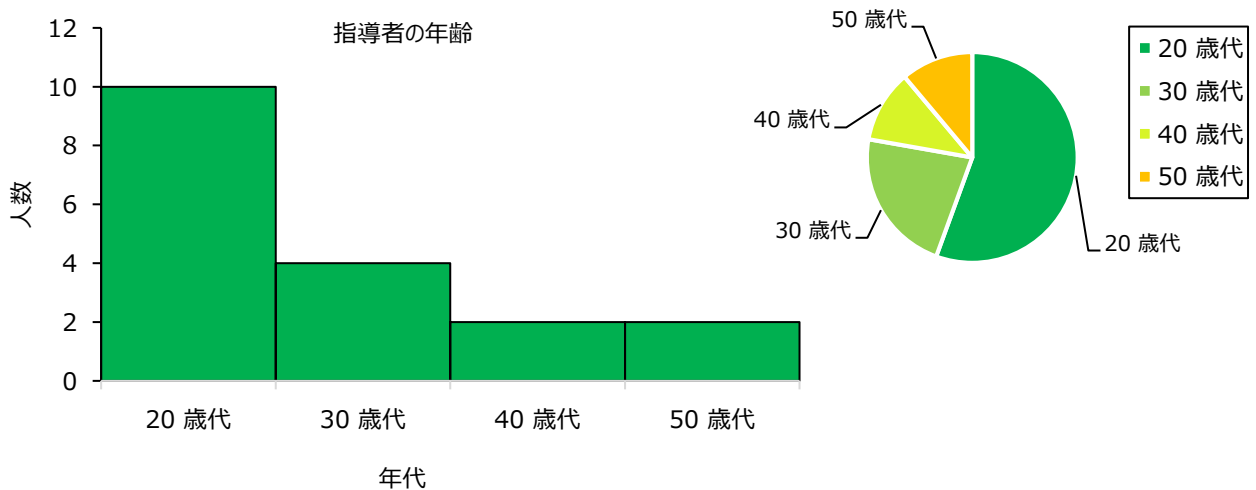


技能五輪全国大会の指導者がおこなう課題指導について A3

競技職種：機械製図

指導者についてのアンケート結果

指導者の年齢



	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	欠損値	合計
人数	10	4	2	2	0	18

指導者としての競技大会への参加経験

・参加経験

	若年者ものづくり 競技大会	技能五輪全国大会	技能五輪国際大会	技能グランプリ大会	その他の大会
あり	1	18	1	0	0
なし	9	0	9	10	18

選手としての競技大会への出場経験

・出場経験

	若年者ものづくり 競技大会	技能五輪全国大会	技能五輪国際大会	技能グランプリ大会	その他の大会
あり	0	12	1	1	0
なし	12	5	10	10	0

指導者の保有資格

	人数
1級製図検定	1
CAD検定1級	1
機械・プラント製図2級	1
機械製図1級	1
機械製図1級、機械検査1級	1
機械製図2級	1
機械製図CAD作業1級	1
機械プラント製図1級	1
技能検定、機械・プラント製図1級	1
技能検定機械製図1級	1
検定CAD1級	1
製図検定2級、教員免許	1

課題についてのアンケート結果

(1) 第1課題、第2課題の指導上の難易度

・第1課題（欠損値：0）

	普通	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	9	0	6	0	3

・第2課題（欠損値：0）

	普通	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	9	2	3	0	4

(2) 競技時間について

・第1課題（欠損値：0）

	普通	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	11	0	4	0	3

・第2課題（欠損値：0）

	普通	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	15	0	0	0	3

(3) 第1課題の3D-CADの使用について（欠損値：0）

	使用している	2D-CADのみで十分解答図が作成できる
人数	17	1

・「使用している」についての詳細

	人数
課題の全てを3D-CADでモデリングした	16
投影図を描くために最低限必要な部分をモデリングした	1
相貫線を求めるなどの一部分のみをモデリングした	0

指導の際に、心掛けたこと

	人数
あきらめるな	1
JISを指導の根拠とし、説得力を持たせること。	1
本番を意識して訓練すること。（訓練環境など）	1
細かく指導せず、本人に任せる。（自分で考えさせる）	1
本人のもつスキルを最大限に引き出す。	1
同一の課題を何度も行うのでマンネリしない様に、常に新しい目標をもって行うようにしています。	1
楽しく取り組む！	1
大会本番で悔いが残ることのないように、日々の指導をしました。	1
制限時間に対する時間配分、優先順位	1
課題実施に対する検証は徹底的に行った。	1
全国大会でのプレッシャーに負けないよう、前日の工具展開、競技日、印刷時まで常に同じ行動が出来るようまとめた。本番は最低限のプレッシャーで望むことができた。	1
競技本番で、当日に課題が発表される為、直前の練習はモチベーションが上がるように、採点、フィードバックを行う。	1
3Dモデリングの作成方法	1

アニメーションの表現力 指示ミスなし	1
製品の機能を理解し、機能に合った形状、寸法、公差、表面性状を入れる事	1
成績を収める上で必要な、主要箇所の誤りを無くす。細かい部分までしっかり読み取る。心技体の向上。	1
寸法の配置を見やすくする。第2の投影はきれいに配置する。	1
特になし	1